



第120期 報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

大同工業株式会社



四輪車用

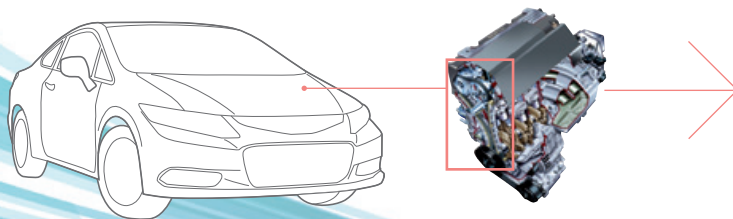
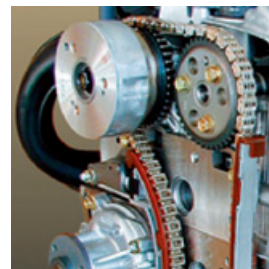
当社独自の特殊表面処理技術で、優れた耐摩耗性・疲れ強さ・高い静音性を実現した四輪車エンジン内チェーン。

[主な納入先] HONDA、TOYOTA、DAIHATSU、MAZDA、SUBARU、SUZUKI、HYUNDAI、第一汽車

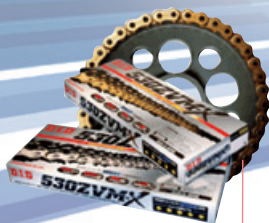
■ タイミングチェーン



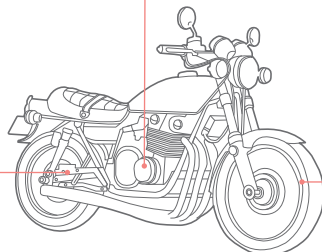
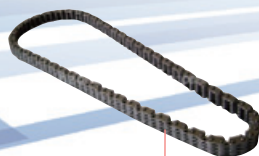
■ チェーンシステム



■ ドライブチェーン



■ カムチェーン



■ 鉄リム



■ アルミリム



DID

モノづくりへの情熱で世界

二輪車用

[D.I.D] ブランドの高い信頼性と実績により、世界No.1の評価をいただく二輪車用チェーンは、多くの完成車メーカーに純正品として採用いただいております。

[主な納入先] HONDA、YAMAHA、SUZUKI、KAWASAKI、BMW、DUCATI、HARLEY-DAVIDSON

高度化・多様化するニーズに、コンサルテーション能力と開発力、固有技術で、お客様の環境に合わせたソリューションを提供しています。

動力伝動・搬送用チェーン



[主な仕様用途]

- ・立体駐車場
- ・フォークリフト
- ・建設機械・農業機械
- ・食品加工機械
- ・印刷機械・包装機械



■ 産業機械用チェーン
(静音チェーン)

コンベヤシステム

■ 粉粒体・環境関連設備向け
(エプロンバケットコンベヤ)



■ 製鉄関連設備向け
(コイルコンベヤ)



事業領域

に感動をお届けするヒューマンテクノロジー

私たちは創業以来、「伝える」「運ぶ」をテーマに、世界のニーズを満たす技術の徹底追求を行い、高性能、高品質な製品をお届けしてきました。

その根底には、人にふれあう技術、人とともに伸びる技術という思想が貫かれています。

ものづくりは人づくり、そして情熱。私たち大同工業グループは、絶えず人と技術を原点に置き、ひたむきに「D.I.D」ブランドへの期待と信頼にお応えしています。

■ いす式階段昇降機
(楽ちん号)



■ 車いす用階段昇降機
(JDエスカル)



福祉機器

豊かで快適な福祉社会を実現するため、使う人の立場に立ったユニバーサルデザインに基づく福祉機器の開発を通じて、バリアフリー社会に貢献しています。



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第120期事業年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長 新家 康三

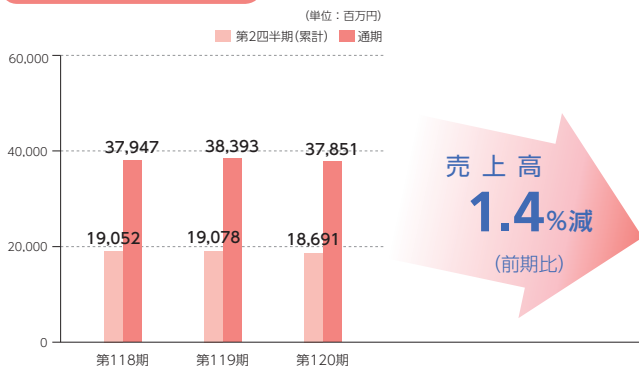
事業の経過及び成果

当期における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、欧州の債務問題や新興国の成長鈍化傾向の影響を受け、厳しい状況で推移しました。国内においては、東日本大震災からの復興が進むにつれ、緩やかに持ち直しの動きが見られたことや、昨年12月の政権交代を受けて今後の経済政策への期待が高まったことなどから景気回復の兆しが見え始めましたが、期間全体としては円高や世界景気の

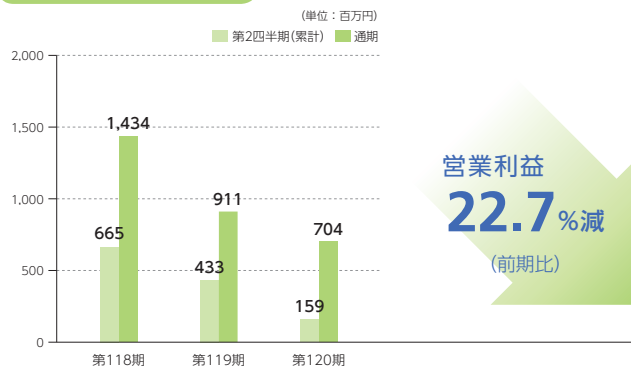
減速などの影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、インドにおける二輪車用チェーン生産工場の立ち上げ、タイにおける物流システム、搬送設備製造販売会社の子会社化などグローバル展開の推進に努めてまいりましたが、東南アジアや南米における金融規制の強化等による二輪車の販売不振や円高の影響等により厳しい状況で推移しました。

売上高



営業利益



その結果、当期の連結売上高は378億51百万円（前期比1.4%減少）、連結営業利益は7億4百万円（前期比22.7%減少）、連結経常利益は9億92百万円（前期比0.1%減少）、連結当期純利益は6億95百万円（前期比64.0%増加）となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、米国や日本において景気回復の兆しが見え始めていますが実体経済の回復はこれからであり、また欧州債務問題、新興国を含めた世界経済の成長鈍化懸念など、引き続き予断を許さない状況が続くと

予想されます。

このような状況のもと、『新たなステージへの変革』をスローガンとする第9次中期経営計画（2012～2014年）の2年目を迎え、インドにおける二輪車用チェーンの一貫生産体制の立ち上げ等グローバル事業の更なる展開を図るとともに、将来の収益源となる柱を確立すべく、EV車輛の開発など新たな事業分野に挑戦し、新規事業の創出を目指してまいります。また、次世代を担う人財を育成し、常に発展しつづける企業体質づくりを進めてまいります。

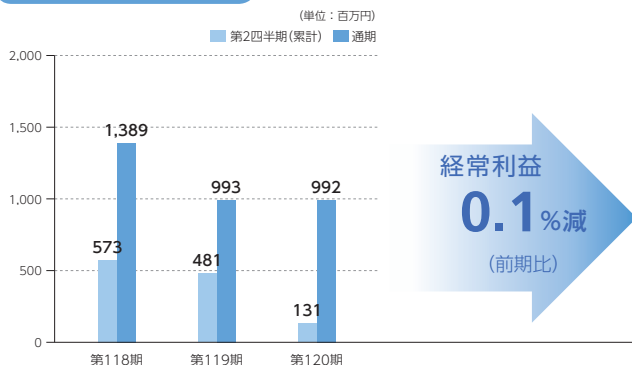
株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第121期(平成26年3月期)連結業績予想

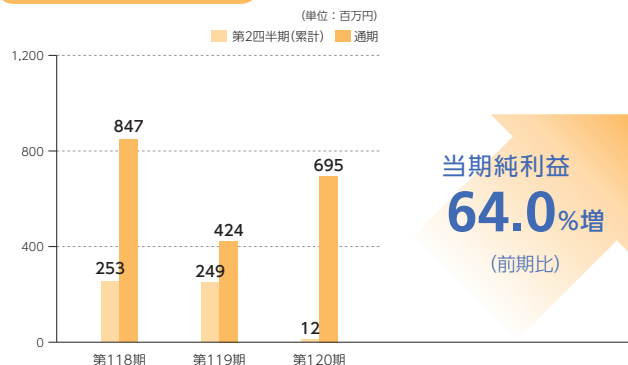
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期（累計）	20,300	750	900	500
通期	41,500	1,900	2,000	1,100

経常利益



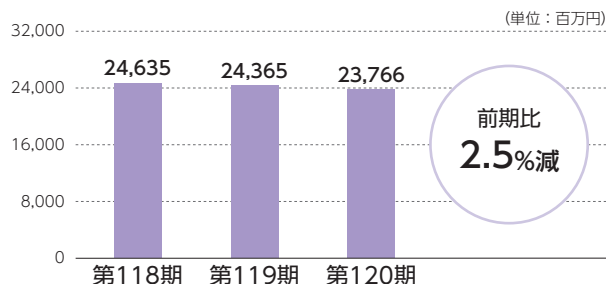
当期純利益



所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

● 日本

四輪車用チェーンについては、新型軽自動車への採用やグリーンエネルギー補助金効果によりディーゼル車向けチェーンの販売が好調であったことにより前期を上回りましたが、二輪車用チェーン、リムは完成車メーカーの欧米向け機種の販売不振、補修市場における中南米向け、アジア向けの不振により前期を下回りました。コンベヤ関連では、自動車搬送設備、環境関連設備において一部大型案件の受注がありました。産業機械用チェーンにおいては北米建機向けが低調であったことに加え、国内の設備投資が依然厳しい状況で推移したため前期を下回りました。その結果、売上高は237億66百万円となりました。

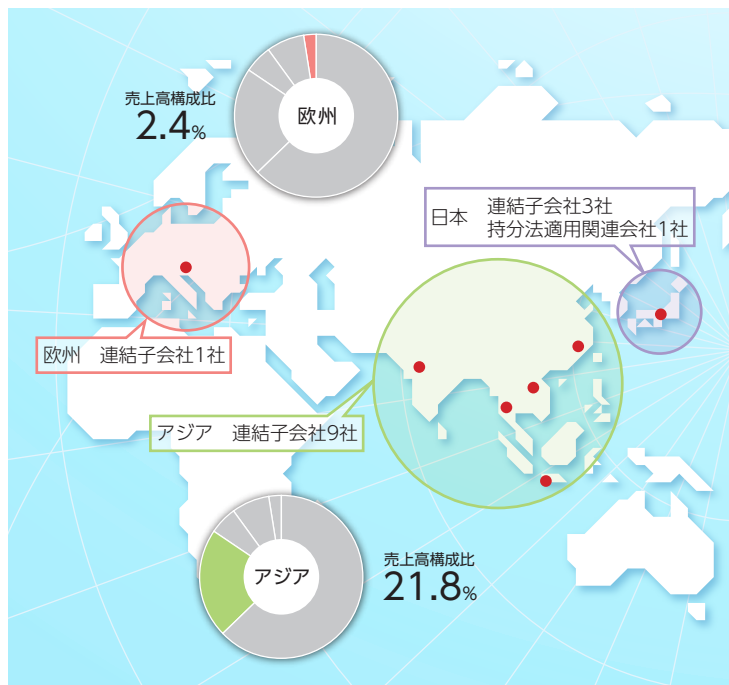


● ご参考 ●

仕向地別セグメント

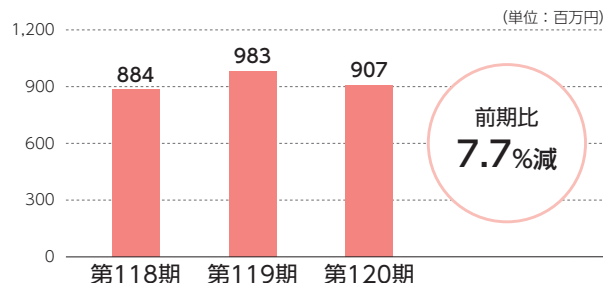
(顧客の属する国または地域を基準としたもの)

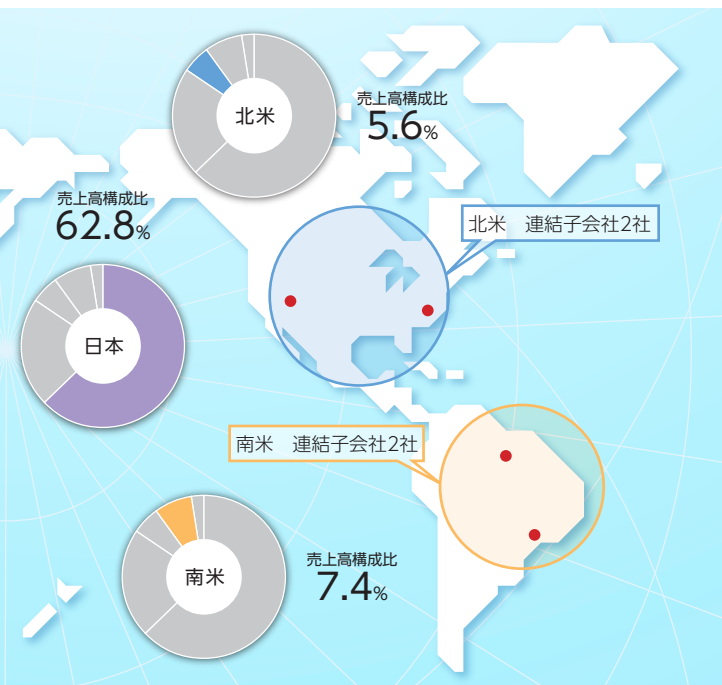
	売上高 (百万円)	構成比 (%)
日 本	20,874	55.1
ア ジ ア	9,902	26.2
北 米	2,112	5.6
南 米	3,094	8.2
欧 州	1,554	4.1
そ の 他	312	0.8



● 欧州

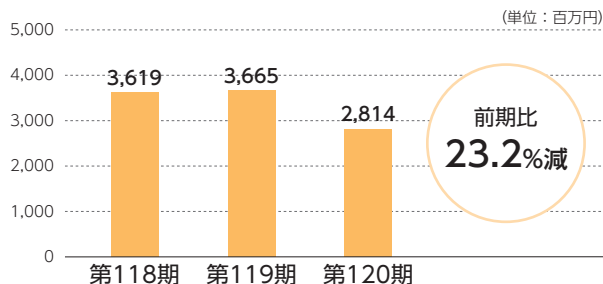
二輪車用チェーン、リムについては、東欧の中古車市場の拡大等により補修市場向けにおいて前期を若干上回りましたが、完成車メーカー向けにおいては生産台数の減少により前期を下回りました。その結果、売上高は9億7百万円となりました。





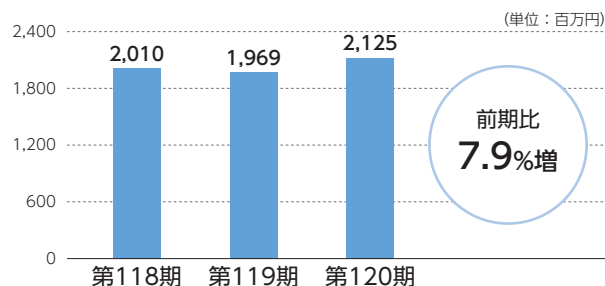
● 南 米

コンベヤ関連については、二輪車用生産設備の大型受注があったものの、二輪車用チェーンにおいて欧州債務問題から波及した金融規制の強化による完成車の販売不振の影響を受け前期を大幅に下回りました。その結果、売上高は28億14百万円となりました。



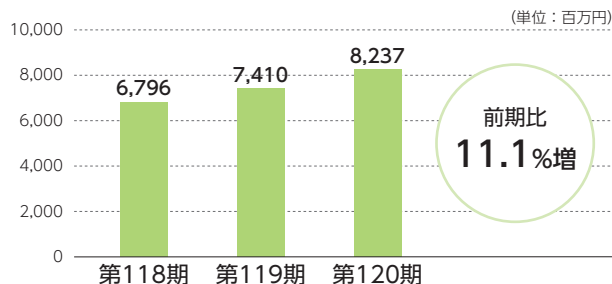
● 北 米

産業機械用チェーンについては、農業機械関連で回復傾向にあるものの依然厳しい状況で推移し、ほぼ前期並みの売上状況でした。二輪車用チェーン、リムについては、完成車メーカー向けにおいて廉価製品への移行により売上高は減少したものの、補修市場向けにおいて需要が回復してきたことにより前期を若干上回りました。また、四輪車用チェーンについては、当期より完成車メーカー向けの納入を本格的に開始したことにより前期を上回りました。その結果、売上高は21億25百万円となりました。



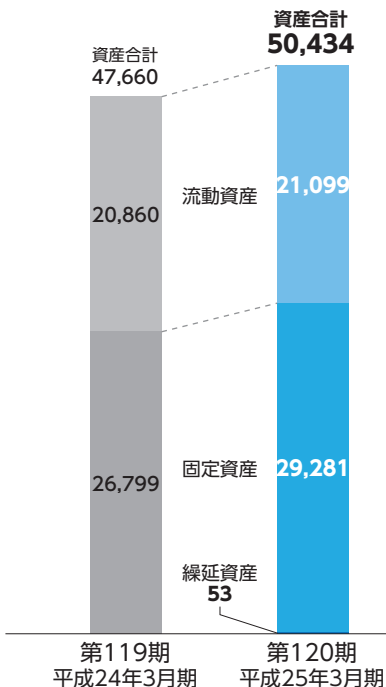
● アジア

二輪車用チェーン、リムについては、欧州債務問題から波及した東南アジアにおける金融規制の強化の影響により完成車の販売が低調であったことにより前期を下回りました。四輪車用チェーンについては、中国において尖閣問題の影響により昨年秋以降落ち込んだものの、上期における新機種の量産開始等により前期を上回り、コンベヤ関連についてもタイにおいて新規連結子会社が加わったことにより前期を上回りました。その結果、売上高は82億37百万円となりました。



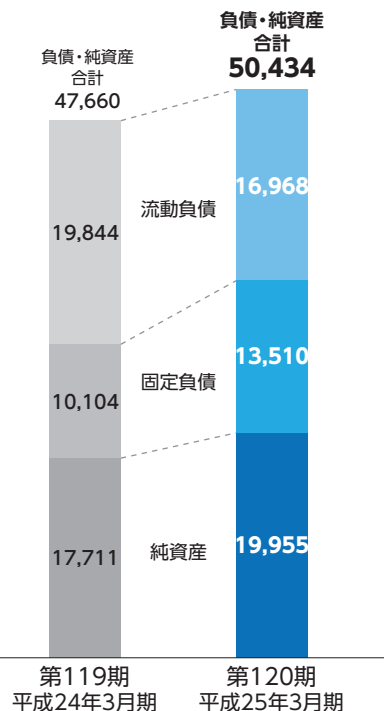
資産の部

単位：百万円



負債及び純資産の部

単位：百万円



ポイント解説

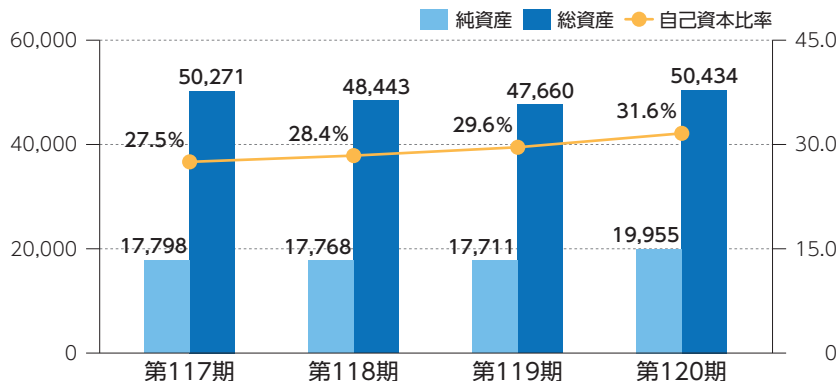
総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、建物及び構築物、リース資産、投資有価証券が増加したことなどにより、前期末と比べ27億74百万円増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金、退職給付引当金が減少したものの、借入金（短期・長期）、繰延税金負債が増加したことなどにより、前期末と比べ5億29百万円増加しました。

純資産は、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末と比べ22億44百万円増加しました。

純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

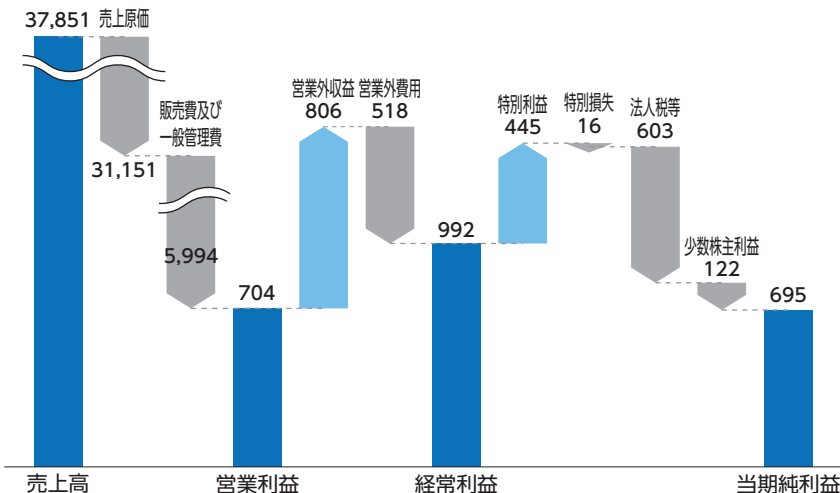


ポイント解説

自己資本比率は、投資有価証券の時価回復によりその他有価証券評価差額金が増加したことなどで、前期末と比べ2.0ポイント増加の31.6%となりました。

● 損益の状況 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

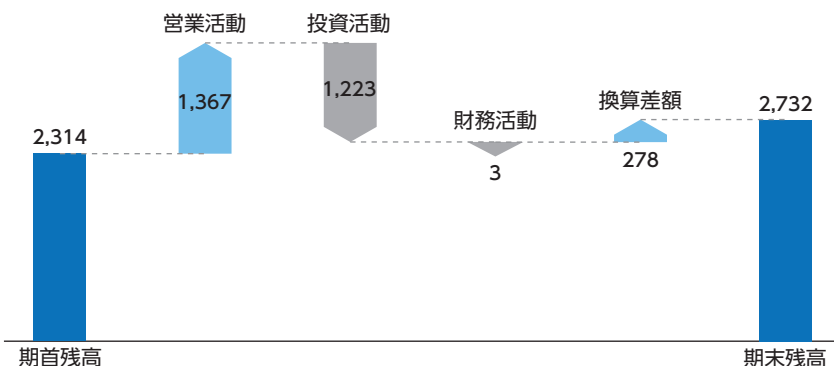
国内外において受注が好調であった四輪車用チェーンに対して、二輪車用チェーン、リムについては、東南アジア・南米における金融規制強化の影響による完成車の販売不振により受注が減少しました。コンベヤ関連については、一部大型案件の受注に加え連結子会社の追加があったものの、産業機械用チェーンにおいて、国内における設備投資抑制の影響などを受け厳しい状況で推移した結果、全体の売上高は前期を若干下回りました。収益面については、円高の影響などを受けたものの投資有価証券売却益の計上などにより、当期純利益は前期を上回りました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第120期 平成25年3月期	37,851	704	992	695
第119期 平成24年3月期	38,393	911	993	424

● キャッシュ・フローの状況 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、退職給付引当金及び仕入債務が減少し、売上債権が増加したものの、減価償却費及び税金等調整前当期純利益の計上などにより、13億67百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払出による収入があったものの、有形固定資産の取得などにより12億23百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入による収入の一方、配当金の支払などにより3百万円の支出となった結果、期末残高は前期と比べ4億18百万円増加しました。

会社の概況 (平成25年3月31日現在)

商号：大同工業株式会社
 設立年月日：昭和8年5月25日
 資本金：27億2,637万円
 従業員：731名（個別） 2,424名（連結）

事業所 (平成25年3月31日現在)

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地
 福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
 動橋工場：石川県加賀市動橋町中22-1
 東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4 (MS-2ビル)
 大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12 (新家ビル)
 名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7
 浜松営業所：浜松市中区萩丘1-19-11
 熊本営業所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

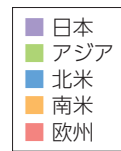
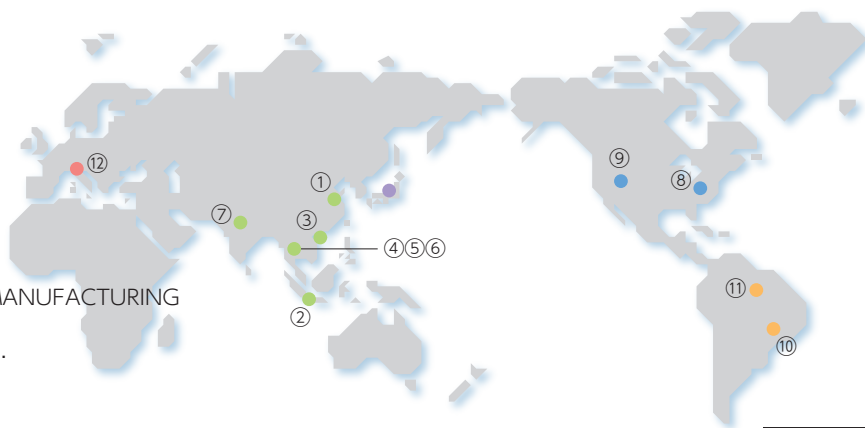
グローバルネットワーク (平成25年3月31日現在)

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条（常熟）有限公司
- インドネシア ② P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ③ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- タイ ④ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑤ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑥ INTERFACE グループ
- インド ⑦ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- アメリカ ⑧ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- アメリカ ⑨ RAD MANUFACTURING, INC.
- ブラジル ⑩ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑪ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑫ DID EUROPE S.R.L.



会社役員状況 (平成25年6月27日現在)

会社における地位	氏名
代表取締役社長	新家康三
専務取締役	立田康行
常務取締役	中野金一郎
常務取締役	平野信一
常務取締役	新家啓史
取締役	菊知克幸
取締役	清水俊弘
常勤監査役	福田治
監査役	笠松靖男
監査役	棚橋健一
監査役	東森正則

(注) 1. 監査役笠靖男氏、監査役棚橋健一氏及び監査役東森正則氏は、社外監査役であります。
 2. 当社は、監査役棚橋健一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。

株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株

発行済株式総数：47,171,006株 (自己株式48,089株含む)

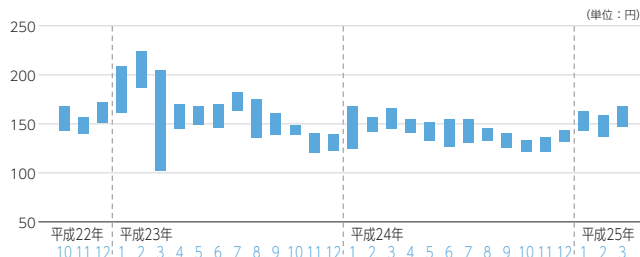
株主数：4,499名

大株主（上位10名）

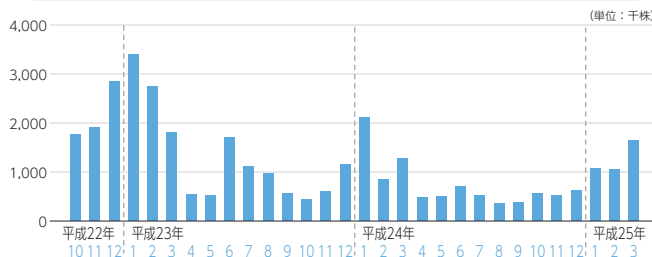
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社北國銀行	2,281千株	4.84%
株式会社飯田	2,079	4.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,382	2.93
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
加賀商工有限会社	1,308	2.78
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
株式会社みずほ銀行	1,291	2.74
新家萬里子	1,287	2.73
三井住友信託銀行株式会社	1,176	2.50

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

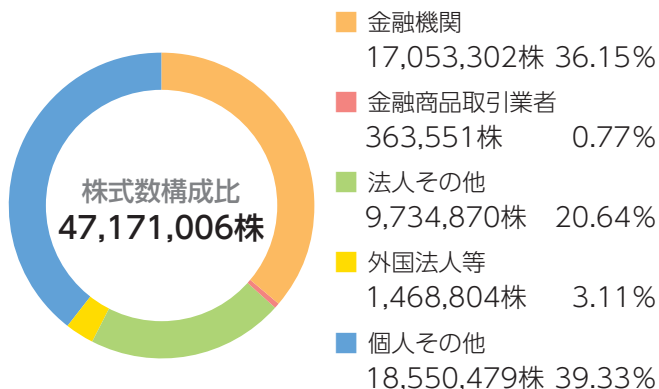
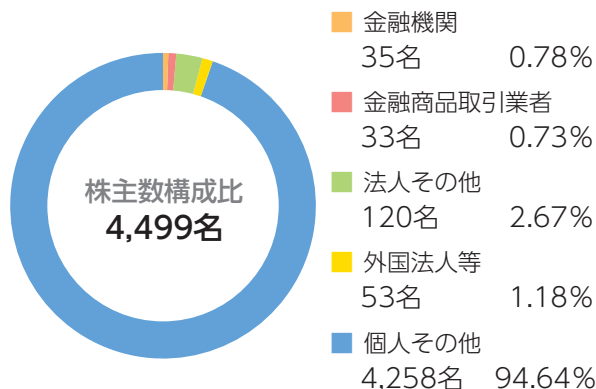
株価(高値・安値)の推移



出来高の推移



株式分布状況



■ 当社が参画する電気自動車開発事業における試作車輦が完成

昨年2月より当社が参画している株式会社SIM-Driveの運営する電気自動車に関する先行開発車事業（第3号事業）において、本年3月、試作車輦：SIM-CELが完成しました。

SIM-CELは、300km以上の航続距離はもちろん、信頼性の確保と電気自動車の魅力をより多く発信することを目標にしながらも、加速感を重視した次世代の電気自動車として開発され、当社提案の5部品全てを採用いただく結果となりました。

今後は、第3号事業での成果と課題の分析を進め、付加価値の高い技術として深化させていく一方で、新たな開発事業への参画、或いは、自動車メーカーが求める開発案件の獲得を目指してまいります。



▲試作車輦「SIM-CEL」(第3号事業)

株式会社SIM-Drive Webサイト：<http://www.sim-drive.com/>

■ タイ国子会社におけるロジスティックセンターが稼働開始



▲オープニングセレモニー

当社グループは、タイ国を東南アジア諸国における物流の更なる効率化と販売網の拡充を図るための重要拠点と位置づけ、昨年11月より同国で建設を進めてまいりましたロジスティックセンターが本年4月に完成し、稼働の運びとなりました。

ロジスティックセンターの運営・管理を行うD.I.D ASIA CO., LTD. (当社連結子会社) では、昨年のIPO資格 (タイ国における輸入許可権) の取得によりタイ国外からの製品の調達が可能となっており、今後はタイ国内外から調達した製品を幅広く取り扱い、顧客のニーズに合致した商品を迅速かつ柔軟に提供してまいります。



▲ロジスティックセンター外観

■ インド生産工場における一貫生産体制への移行を決定



▲インド生産工場外観

当社のインド連結子会社DAIDO INDIA PVT. LTD.は、昨年9月のチェーン生産工場の竣工・稼働以来、部品を輸入しチェーンの組立生産を行ってまいりましたが、生産体制の更なる整備を目的として増資を行い、原材料の現地調達を含めた部品加工から組立までの一貫生産体制へと移行することを本年5月に決定致しました。

これにより、成長著しいインド二輪車市場に対する増産体制の確立と価格競争力の強化を図ってまいります。

DID EUROPE S.R.L. (以下DE) は、長靴の形のようなイタリア半島のほぼ付け根にあるボローニャ市の郊外にあります。同市は、古くから交通の要衝として栄えてきた都市で、近郊にはDUCATIやPIAGGIOなどヨーロッパを代表する二輪車メーカーや、フェラーリやランボルギーニなどの高級車メーカーがあり、また食品加工や梱包などの機械製造業が多いことから、それらへ部

品を供給するサプライヤーも多く集積しています。工業地帯と言うより、隣町のフィレンツェに代表される、中世の町並みが残る職人達の街という趣も持ち合わせています。

DEは、ヨーロッパにおけるチェーンやリムなど二輪車用部品の輸入販売を目的として、2004年に大同工業100%出資による現地法人として設立されました。設立当時は販売代理店の一室を借りた小規模なスタートでしたが、EU圏の拡大に伴い順調に業績を伸ばし、2009年に倉庫機能を有する現在の社屋に移転しています。

その前年の2008年には、リーマンショックによる金融危機で二輪車メーカーも生産が大きく落ち込みましたが、強いブランド力を活かした補修用チェーンの拡販によって、業績への影響は最小限に留めることができました。以来、EU圏のみならず東欧・ロシアなどへも補修品の販路を拡大し、ヨーロッパ全域での販売代理店の拡充と、二輪車メーカーにおけるDID製品の採用向上を図り、2011年には設立当時の倍増となる過去最高の売上高を記録することができました。

さて、ようやく落ち着きを見せてきた欧州債務問題ですが、ユーロ諸国の財政緊縮策による不景気は、二輪車業界全体に深刻な影響を与えています。DEでは、二輪車市場での高い



DID EUROPE S.R.L.の概要

会社設立時期：2004年3月

資本金：510千ユーロ

所在地：Via Del Fonditore 16, 40138 Bologna, Italy

従業員数：8名

ホームページURL：<http://www.dideu.it/en/>

マーケットシェアを維持・拡大しつつ、事業基盤の拡大と安定を目指して産業機械用チェーンの販売を開始しました。ヨーロッパには独自技術で世界的に有力な機械メーカーが多数あり、イタリアも欧州屈指の工業国であることから、産業機械用チェーンの販売は有望な新規事業と期待しています。

DIDグループでは、世界トップクラスの二輪車レースへ積極的なスポンサー活動を行っており、DIDブランドは世界中のユーザーに浸透しています。モータースポーツの本場ヨーロッパにおいてもその認知度は非常に高く、DEでも数多くのレースチームをサポートし、高性能且つクリーンで安全な製品を提供することで、健全なモータースポーツ文化の発展に寄与しています。

今後とも、二輪車事業で培った技術力とブランド力で、事業領域の更なる拡大を展開し、DID製品の販売とブランド戦略においてDIDグループの欧州総合拠点となるべく、より一層努力してまいります。



株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
単元株式数	1,000株		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当 期末	3月31日	
	中間	9月30日	
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(郵便物送付先※)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先※)	☎ 0120-782-031		
※平成25年1月より郵送物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。			
(インターネットHP URL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html		
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部		
証券コード	6373		

お知らせ(株式事務のご案内)

■ 各種手続き・ご照会について

株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。住所、氏名の後変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求などのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は、口座を開設されている証券会社までご連絡下さい。

■ 特別口座について

株券電子化の実施までに証券保管振替制度をご利用されなかった株式につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された特別口座に記録されております。特別口座で管理されている株式についてのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は特別口座管理機関である三井住友信託銀行までご連絡下さい。なお、三井住友信託銀行の全国本支店でもお取次いたします。

■ 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場における取引単位を1単元(1,000株)とさせていただいておりますので、単元未満株式(1から999株)の株式は証券市場でのお取引ができません。当社単元未満株式の買い取りをご希望される株主様は、お取引のある証券会社(特別口座が開設されている株主様は、三井住友信託銀行)までお問い合わせ下さい。なお、買取請求に関する手数料は無料となっております。

■ 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

■ 二輪車用ドライブチェーン【415ERZ】

軽さと低フリクション性能で小排気量ユーザーは勿論、MotoGP世界選手権や全日本選手権のGP3クラスでも多くの支持を受ける415ERが更なる進化を遂げました。

高強度部材の採用とピン径の見直しにより、従来比約7倍以上の耐衝撃性と、レスポンスの向上を実現しました。

また、SDH加工された特殊ピンにより、ウエット走行などの過酷な条件下でも安定した性能を発揮し、僅かな抵抗がパワーロスとなる小排気量クラスにおいて、高速域で車速の伸びを体感いただけます。

ミニバイクからGP3レース用車輛まで対応する「ゼロフリクションチェーン」の誕生です。

※競技専用設計の商品ですので、一般公道での使用はご遠慮ください。



適合：125cc～250cc

カラー：G&G(ゴールド)

対応車種：NSF250R・TZ125・RS125・ミニバイク、ミニモト車輛等

■ CRF250/WR250専用カラーアルマイトリム

国内外のモトクロスシーンで圧倒的なシェアを誇るホンダCRF250LとヤマハWR250Rの2車種向けに、それぞれの個性と走りを主張するドレスアップリムを開発しました。

リム表面には、ワークスカラーのアルマイト処理を施したうえで光沢の出る鏡面加工を行い、高級感溢れる仕上がりとなりました。また、素材には特殊断面設計した強化アルミを採用。ストリートでの優れた操作性と追従性はもちろん、モトクロスレースにおいても圧倒的な剛性と抜群の走破性を発揮します。



車種	サイズ	カラー	品番
CRF250L	21×160	レッド	CRF L F-R (フロント用)
	18×215	レッド	CRF L R-R (リア用)
WR250R	21×160	ブルー	WR R F-R (フロント用)
	18×215	ブルー	WR R R-R (リア用)

■商品のご購入はお近くのバイクショップ、またはバイク部品販売店にご相談下さい。

■掲載写真は撮影・印刷の関係で実際の色とは異なって見えることがあります。

■仕様などは、改良のため予告なく変更する場合があります。

ホームページのご案内

<http://www.did-daido.co.jp/>



投資家の皆様に財務情報や最新トピックスをご提供しております。



より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ホームページ
[投資家向け情報] をご覧下さい。

大同工業 投資家向け情報

検索

<http://www.did-daido.co.jp/jp/ir/index.html>

